

首都圏新都市鉄道株式会社

代表取締役社長 柚木浩一様

つくばエクスプレス東京駅延伸と  
利便性向上に係る要望書

つくばみらい市

つくば市

守谷市

つくばエクスプレスは開業から15年目を迎え、令和元年度においても、1日あたりの平均乗車人員は順調に伸びており、混雑緩和の対応として、車両編成の増強も予定されております。

これもひとえに貴社の安全運行と輸送力の増強をはじめとした鉄道輸送サービスの利便性向上に対する多大な努力の賜物とお礼申し上げます。

三市においても、より魅力あるまちづくりを推進し、沿線への定住促進と企業誘致に鋭意努力しているところですが、今後も鉄道利用者を継続的に確保するためには、つくばエクスプレスの東京駅延伸など更なる利便性と快適性の向上が必要と考えております。

つきましては、貴社におかれましても、更なる鉄道利用者の利便性向上と、より一層の経営安定化に向け、以下の4点について、強く要望いたします。

#### (1) つくばエクスプレスの東京駅延伸について

つくばエクスプレスの東京駅延伸については、新東京駅周辺の他路線との接続により、利用客の利便性と沿線のポテンシャルの向上に大きな効果があると期待しております。

また、平成28年4月の交通政策審議会の答申に位置付けられたように、都心直結線や都心部・臨海地域地下鉄構想と一体整備

することが効率的・効果的であることから、双方路線に対しての需要予測調査を早急に実施いただき、費用対効果の検証及び駅位置並びにルートを検討を要望いたします。

## (2) 茨城県内の利便性向上について

これまで、つくばエクスプレスの快速列車につきましては、通勤快速列車が研究学園駅へ停車するなど、一部について利便性の向上が図られてきました。

今春予定しているダイヤ改正におきましては、列車の増発及び列車種別の見直しにより茨城県内各駅の停車本数が増えるなど、利便性の向上が図られると伺っております。

しかしながら、列車種別の見直しにより、平日の朝ラッシュ及び夜間時間帯に利用可能な快速及び通勤快速列車の本数が減少したことは、課題であると認識しているため、引き続き利便性の向上に向けたご尽力をお願いいたします。

また、茨城県内における快速列車の停車駅はダイヤ改正後も2駅のみであり、沿線利用者からは、他駅への快速列車の停車を求める声が多くあがってきております。

特に、研究学園駅周辺は、つくば市庁舎が位置し、機能的に市政の中心であり、つくば市の副都心として発展を続けております。

みらい平駅周辺は、子育て世代を中心に人口が順調に増加して

おり、今後も大きく発展を続ける地域であります。これら2駅は、守谷駅と合わせて今後の茨城県南地域でのまちづくりの核となる駅でありますので、研究学園駅及びみらい平駅への快速列車の停車を要望いたします。

### (3) 通学定期乗車券の運賃引き下げについて

つくばエクスプレス沿線は、良好な住宅地が供給され、子育て世代の皆様には選ばれる地域となっていることから、今後も学生利用がより一層進むと考えられます。

こうしたなか、つくばエクスプレスの通学定期乗車券の運賃は、中学生・高校生・大学生とも同一料金で細分化されておらず、その割引率も競合路線であるJRと比較して低く、子育て世代にかかる乗車運賃負担が重荷となっております。

安全・安定・安心の輸送を維持するためには、鉄道経営の安定が重要であることは理解しているところでありますが、貴社における経営状況も順調に推移しており、また、三市としましても、茨城県とともに、東京都方面からの通勤通学者増加へつながる施策の実施に取り組んでまいりますので、通学定期乗車券の運賃引き下げについて、引き続き検討くださいますようお願いいたします。

#### (4) 混雑緩和対策について

つくばエクスプレス沿線各区市の人口推計では、2020年代後半に人口ピークを迎える区市が多く、「車両編成の8両化」を1日も早く実現すべきであると考えております。

また、同ピークを迎える2020年代後半から「車両編成の8両化」が実現するまでの間の混雑緩和対策についても至急検討を要する課題であると考えております。

つきましては、「車両編成の8両化」の早期実現及び同8両化が実現されるまでの間の混雑緩和対策を講じていただけますようお願いいたします。

令和2年3月4日

つくばみらい市長 小 田 川 浩

つくば市長 五 十 嵐 立 青

守 谷 市 長 松 丸 修 久